



よしだ たけし

# 吉田通信

第1号

【2014年10月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一個人通信です■

## ◆ごあいさつ◆

こんにちは！吉運堂の吉田竹史です。社長に就任して先月9月20日でちょうど丸3年が経ちました。就任3周年を記念いたしまして今月より「吉田通信」を発行させていただくことになりました。この吉田通信は私が日々考えていることやちょっとした気づきなどを発信していく個人通信です。お時間のあるときにでもお読みいただくと幸いです。これから月に一回ずつ継続して発行させていただきますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。吉田竹史

## ◆味噌、納豆、ところてん…◆

吉田通信の記念すべき第1号は私が子どもの頃の吉運堂についてです。私は昭和40年8月21日に、ここ新潟県新潟市南区（旧・白根市）に仏壇屋の長男（三代目）として生まれました。

中学では野球、高校では陸上（長距離）をやり、大学は都内の大学に行きました。大学卒業後社会人となり、今とは完全に畑違いの証券会社に入りました。証券会社では水戸とニューヨークで合わせて4年間勤務し、その頃、実家の母から「そろそろ戻って手伝って欲しい」と言われ、吉運堂に戻ったのが26、7のときです。そのときにはすでに今の本社の建物が建っていたのですが、私が子どもの頃の吉運堂は、実はまだ自宅兼店舗でした。

今から90年前、私の祖父が仏壇の彫り師として独立したことが吉運堂の起源です。父も祖父を継ぐために別のところに彫り師として弟子入り。しかし、その師匠から「あんまり儲からないよ」と言われ、父はやめて戻ってきてしまいました。そして、実際に儲かっていませんでした…。

どれくらい儲かっていなかったかと言いますと、当時の吉運堂は本業だけでは家族が食べていけなかったのです。私が子どもの頃は自宅が店舗兼。さらに自宅の裏側の作業場では祖母と叔母が味噌と納豆、ところてん、さらには麴を作って販売していました。家に誰もいないときにお客さんが来ると、私も「頼まれていた〇〇さんですね」と言って、お金をもらってところてんなどを渡していたほどで、当時は吉運堂が将来今のようになるとは夢にも思っていませんでした…。

ちなみに、吉運堂（よしうんどう）という名は、家の屋号が「運平」で、祖父と父が話をして最初は「運平堂（うんぺいどう）にしようか」となったそうです。ただ「運が平らなのはどうか」となり、吉田の「吉」と運平の「運」を取り、吉を運ぶ吉運堂（よしうんどう）となりました。



最後に、私が子どもの頃の自宅兼店舗の時代、夕飯時になると酔っ払った祖父から私はよく言われていました。「漬すも興すも3代目だぞ」と。子どもながらにしっかりしなきゃと思ったことを今でもよく覚えています。社長に就任して丸3年。3代目としてこれからも会社が永く続くようにしっかり頑張っていきたいと思えます！

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■

### 【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）  
生年月日：昭和40年8月21日（O型）  
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）  
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋  
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）  
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史